

長野県の観光振興について ~ 「観光立県長野」再興計画の概要 ~

計画策定の趣旨

長野県観光の危機的状況を踏まえ、「観光立県長野」の再興に向け、県の観光施策を計画的かつ戦略的に推進するため策定する「長野県観光振興基本計画」

「観光立県長野」の再興に向けた、観光事業者をはじめとする県民一人ひとりの取組についての提案

計画の期間

平成20年度～24年度（5年間）

第1章 長野県観光の現状と課題

1 長野県観光の現状

- (1) 観光旅行者数、観光消費額の減少
- (2) スキー客など冬季観光旅行者の減少
- (3) 外国人宿泊者数の増加
- (4) 低い顧客満足度 など

2 観光産業の重要性

- (1) 長野県の基幹産業の一つ
- (2) 幅広い産業への生産・雇用の波及効果

3 観光を取り巻く環境の変化

- (1) 社会経済状況の変化
 - ・ 少子高齢、人口減少社会の本格化
 - ・ 価値観・ライフスタイルの多様化
 - ・ 高速交通網整備・グローバル化の進展
- (2) 観光需要・観光環境の変化
 - ・ 成熟化する観光ニーズ
 - ・ 観光地間競争の激化 など

4 長野県観光の課題

- (1) ニーズ変化への対応
- (2) 顧客満足度の向上
- (3) 地域特性を生かした観光魅力づくり
- (4) スキー場や温泉地の活性化
- (5) 周遊の広域化、日帰り観光増への対応
- (6) 国際観光市場の開拓
- (7) 効果的な誘客宣伝

第2章 長野県観光の将来像

2 将来像実現に向けての基本姿勢

- (1) 観光旅行者の視点に立って、顧客満足度を向上させる
- (2) 住んでいる地域への愛着と誇りを大切にする
- (3) 豊かな自然、元気で長生きなどの長野県の地域特性を磨き、継承していく
- (4) ユニバーサルデザイン、バリアフリー化を促進する

1 長野県観光がめざす将来像

国内外の多くの人々が繰り返し訪れ時代を超えて愛される日本のふるさと「長野県」(NAGANO)

3 達成目標の設定

県内の観光サービスに対する満足度	観光消費額	観光地利用者数	外国人宿泊者数
50%以上 ↑ 38.7%	4,000 億円以上 ↑ 3,241 億円	1 億人以上 ↑ 8,756 万人	37 万人以上 ↑ 18 万 4 千人

「もう1か所」観光してもらえるように

「もう1泊」宿泊してもらえるように

「もう1コイン(500円)」使ってもらえるように

「もう1度」訪れてもらえるように

第3章 計画の推進体制

1 役割分担

多様な主体が適切な役割分担のもと、互いに協働し、施策を一体となって展開
観光産業に携わる事業者をはじめ民間部門や県民一人ひとりが観光振興の主役

県 県観光協会 観光事業者 観光関連団体 住民、NPO等 市町村 大学など

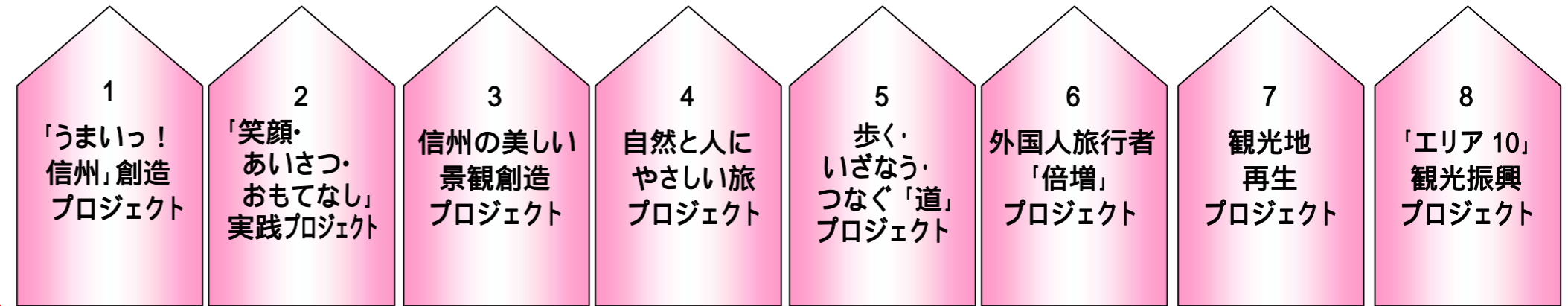
2 計画の検証・評価

- (1) 長野県観光振興審議会や地域観光戦略会議(仮称)を中心に事業の進捗管理と成果の検証を行い、施策の見直しにつなげる
- (2) 長野県中期総合計画に基づく政策評価の仕組みも活用

第4章 重点プロジェクト

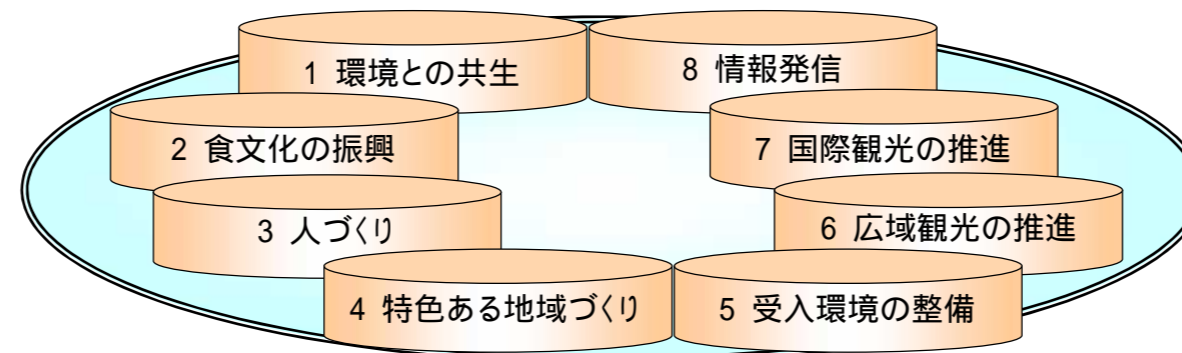
県内の受入基盤の強化を図るため、早期かつ重点的に取り組む事項

主体別の主な取組も記載



第5章 施策体系

5年間に取り組む主な施策を8つの体系に整理し、総合的に推進



第6章 エリア別の観光振興策

10エリア(広域行政圏)ごとの地域特性を生かした発展方向と施策展開

